

事務事業評価資料

施策名	観光ツーリズムの推進		所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光交流課					
事業名	ひょうごツーリズムバス推進事業費		担当者電話番号	国際観光係 078-362-3340					
事業目的	県下の多彩なツーリズム資源をいかして、ツーリズム活動を目的とした県外からの来訪客の誘致促進を図るとともに、隣接県を訪れる観光客の兵庫県への誘客促進を目指し、隣県と県域を越えてネットワーク化した一体的な観光地づくりを推進する。								
事業内容	バス借り上げ料金への助成 助成対象者：旅行会社等、助成対象経費：バス借り上げ料金の1/2以内、助成額上限：(宿泊)6万円(日帰り)3万円				事業開始年度	平成13年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 34,164千円		(0千円) 28,750千円		(0千円) 28,750千円			
	人件費	2,674千円	従事人員 0.3人	3,389千円	従事人員 0.3人	2,508千円	従事人員 0.3人		
	総コスト(+)	36,838千円	従事人員 0.3人	32,139千円	従事人員 0.3人	31,258千円	従事人員 0.3人		
事業の目標	バス借り上げ料金助成台数の維持				[目標設定理由] ・ツーリズム活動を目的とした県外からの来訪客の誘致促進を図るために実施することから、バス借り上げ料金助成台数の維持を目標とする。 ・台数は、新行革プランにそって1,100台(しごとツーリズムバスとあわせて1,200台)を確保する。				
	県外からの観光客入れ込み数の確保				[目標設定理由] ・事業実施により県外からの観光客誘致を図るため、県外からの観光客入れ込み数の確保を目標とする。 ・目標値は、ひょうごツーリズムビジョン後期行動プログラムにそって、H22に150百万人を目指す。				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	助成台数(台)	1,100	毎年度	882 (42千円)	1,200 (27千円)	1,100 (28千円)	80%	109%	100%
観光客入込数(百万人)	150	H22年度	132 (279千円)	-	-	88%	-	-	
評価結果	必要性	・地域活性化を図るためには、ツーリズムの推進による交流人口の増加が必要である。 ・経済の減速等により旅行意欲が減退している現状を考慮すると、本県へのバス旅行に係る借り上げ代金に対して助成を行うことは、国内外からの観光客の本県への誘致に大きく寄与する。							
	有効性	・観光客入込数の20年度見込が不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、助成台数は毎年度増加しており、着実に成果があがっている。							
	効率性	・指標1単位あたりのコストは、減少するか概ね同額を維持しており、効率的な執行を行っている。 ・なお、(社)ひょうごツーリズム協会に補助することにより、協会が申請受付から実施確認、助成金支払いまで一括して行っており、効率的な執行を図っている。							
	民間・市町との役割分担	・(社)ひょうごツーリズム協会において事業を実施しているほか、本制度を利用した新たな旅行企画の立案、広報等を民間の旅行社が行うことで、本県の豊富な観光資源を広くPRするなど、連携して事業を推進している。 ・なお、交流人口を拡大し、地域活性化につなげるためには、引き続き県として実施する必要がある。							
	受益と負担の適正化	・1件あたりの助成額を、借り上げバス代金の1/2以内、上限30千円と定めており、借り上げ代金の残額、食費や観光施設入場料などの、参加者負担が必要な制度設計となっている。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
説明	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
	本県への観光客誘致に一定の役割を果たしていることから、継続して実施する。								